

## 青少年委員だより

泰然自若として子どもたちと接する

第147号



平成29年9月9日(土)「東京都城東ブロック青少年委員連絡協議会」研修大会(タワーホール船堀)

短期・中期、そして長期的視野に立って  
江戸川区立中学校長会  
会長 武田 信樹

仕事柄、毎年三年生を引率して修学旅行に行かせていただいています。京都奈良方面が多いのですが、世界遺産のある街並みや建造物に新しい発見をしてありがたいと思うことがあります。

今年はあるお寺の山門の前でしばらく立ち止まり、何度も読み返した言葉がありました。内容は「私たちは短期的には今の職業を通して、中期的には自分の一生を通して、長期的には何度も生まれ変わることを通して、己の魂を磨いていく、このようなものだったと思います。一般的に私たちは、この一・二年先を短期的、五年・一〇年先を中期的、そして一生をどのように生きるかを長期的な目標としていることが多いと思うのですが、この言葉の深遠さと気の遠くなるような時間の永さを想像したとき、日々の生活のなんと小さなことで考え込んだり思い悩んだりしていることが多いことかと思えました。

子どもたちの学校生活、またこれからの社会生活ではより一層そうだと思うのですが、マナーやモラルが重要視され、限られた時間の中である程度の成果を出していくことが求められます。これは当たり前のこととは思いますが、一歩外に出たときに、その周りで支えていただいている大人たちが前述の宗教的な意味合いを除いて、泰然自若として子どもたちと接していただくならば、どんなに気持ちを和らげる子どもに接することかかもしれません。

青少年委員の皆様をはじめ地域活動をしていただいている皆様の、日頃の子どもたちへの声掛けや行事へのお誘い、また学校の教育活動へのご支援に対し、心より感謝を申し上げます。今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 東京都城東ブロック青少年委員連絡協議会 研修大会  
 研修テーマ：「オリンピック・パラリンピックのこころと育成の心」  
 ～子どもたちの夢のお手伝い、その夢が未来を創る！～

日 時：平成29年9月9日（土）13時～16時20分（懇親会16時40分～18時40分）

会 場：タワーホール船堀5階 小ホール（懇親会：タワーホール船堀2階 瑞雲）



藤野 強氏

平成29年9月9日（土）東京都城東ブロック青少年委員連絡協議会・研修大会が行われ、タワーホール船堀に総勢103名が集いました。

今年度の研修大会はオリンピック・パラリンピックをテーマとし、オリ・パラ気運が盛り上がる研修大会となるように目指しました。

第一部としてオリンピック元カヌー・スラローム選手の藤野 強氏に、カヌーを通じて子どもたちの健全育成について講演をお願い致しました。3年後の東京オリンピック・パラリンピックでは葛西臨海公園周辺にカヌー・スラローム競技会場ができます。その

跡地をリバースポーツの拠点として、地域と行政とが連携をはかり、子どもたちの環境作りをし、体験を通じた教育や災害に対する学びの場として活用できればとの貴重なご意見を頂きました。

第二部では江戸川区青少年委員会独自の「研究グループ」活動を取り上げました。初めに、今期設置された6つの研究活動を紹介しました。その後、各区の委員がそれぞれ

【参加者数】103名（事務局担当8名を含む）

- ・江東区26名
- ・墨田区19名
- ・江戸川区57名
- ・岡本 進 東京都青少年委員連合会会長

【第一部】講演会「スポーツを通じた健全育成」

講師 藤野 強氏 元カヌー・スラローム選手(アトランタ五輪出場)

【第二部】「研究グループ活動」の紹介

ーより良い青少年育成活動をめざしてー

- ・防災意識を高める研究
- ・おもしろ工作研究
- ・中学生の地域参加研究
- ・小学生の放課後研究
- ・紙芝居文化研究
- ・子どもの文化体験研究

【分科会の様子】

子どもの文化体験研究グループ



小学生の放課後研究グループ

れのグループに分かれ、ゲームや工作、街歩きなど研究グループ活動を体験しました。

研修大会後は「瑞雲」に会場を移し、各区の委員との情報交換・懇親の時間を過ごし、無事研修大会を終えることができました。

（文責・城東ブロック実行委員会委員長 高橋哲也）

# 早朝の校庭で ラジオ体操を楽しむ

第35回  
区民  
ラジオ体操  
大会

第35回江戸川区民ラジオ体操大会が、夏休みに入ったばかりの7月22日(土)に松江第六中学校で近隣の住民を中心に約2000人が参加して開催されました。

大会は始めに関係者の挨拶、区歌の斉唱、ラジオ体操連盟の実技指導者のもと準備体操が行われました。

そして、いよいよ6時30分ラジオのスイッチが入れると、いつ以来だろうかと思うほど懐かしい音楽が校庭に響き渡りました。

それに合わせラジオ体操第一・第二が実施されました。

中央地区部会の青少年委員10名と本間会長も受付での参加賞の配布作業後、参加者と一緒に体操しました。

普段から運動不足気味の私には体を動かすたびに「いた

たつ」と感じるくらいでした。

大会は無事終了し帰路に着く皆さんはどこか清々しい顔をしていました。

(文責・中央地区 関 清孝)



平成29年10月8日(日)、「第40回江戸川区民まつり」が都立篠崎公園にて開催されました。この記念すべき40回目は、素晴らしい秋晴れに恵まれ、約55万人の参加者で賑わいました。

私たち青少年委員は、朝8時半に全員が集合し、三浦実行委員長を中心に意気揚々とスタート！区民まつり会場の7つの広場で「ポイントゲッター(スタンプラリー)」を各地区部会ごとに担当しました。準備されたクイズや各地区部会手作りのヒントを説明したり、正解者にはスタンプを押しました。総数で925名の皆さまにポイントゲッターを楽しんでいただき、用意された素敵な景品を持ち帰っていただきました。

青少年委員として、たくさんのお若男女の区民の皆さまとふれあう機会をいただき、笑顔あふれる1日となりました。

(文責・鹿骨地区 我妻春美)



## 素晴らしい 秋晴れの中で

## 素晴らしい 秋晴れの中で

第40回  
江戸川  
区民  
まつり

### 中学生の地域参加研究グループ

中学生の地域参加研究グループは、中学生が主体となって活動できるイベントとして「ふれあいドンドコパーク」を1年に一度開催しています。

今年（平成29年）8月27日（日）共育プラザ葛西にて、第13回ふれあいドンドコパーク（笑顔満祭『地域と笑顔を結ぼう！』）を24人の中学生が企画、運営をしました。そしてドンドコOBの高校生や地域協力団体として中組町会（かき氷）、第六葛西小学校OB会（冷やしうどん）葛西小学校おやじの会（綿あめ）に参加協力して頂きました。

天候にも恵まれ、近隣の小さいお子さんから地域の大人まで、幅広い層の人たち



第13回  
ふれあいドンドコパーク



ちが笑顔で楽しくゲームや模擬店での食事を堪能してくれました。共育プラザ葛西に場所を移し、年々来場者が増えて来てくれている事を肌で感じる事が出来た1日でした。

（文責・リーダー 白石重夫）



### 手作りおもちゃで

楽しもう

おもしろ工作研究グループは毎月第2金曜日13名のメンバーで活動しています。今年度のおもしろ工作はトランスパレントを中心に行ってきました。

トランスパレントとはドイツ語で「透明な」という意味で折り重ねて光にかざすと色の濃淡ができてステンドグラス調の飾りとして楽しめる折り紙です。このグループでは、今年7月の定例会研修ではトランスパレントの2作品を題材に、グループのメンバーが中心となり作り方を教えました。

作品を作った感想を聞いても「とても簡単で綺麗にできて良かったです」とうれしい声も寄せられました。

9月に行われた城東ブロック研修大会の分科会でもおもしろ工作研究グループでは、このトランスパレントを行ないました。

他区の方々にも持ち帰って頂いたので地域の子どもたちと一緒に物作りの楽しさを体験して頂ければと思います。

（文責・リーダー 岩楯英子）

紙芝居研究グループ



紙芝居文化研究グループは4期8年目になり、今期は7名でスタートしました。少ない人数ですが一人ひとりが出来る事をやり、協力しあひ、楽しみながら活動しています。

今期は、江戸川区の昔ばなし2話をオリジナル紙芝居にし、うち一つは中学生とのコラボ作品です。また、パネルシアター（パネル布を貼った舞台に絵を貼ったり剥がしたりしながら話を展開させていくもの）も作成しました。

私たちの活動の中心となっているオリジナル紙芝居が完成するまでを紹介します。まず、『紙芝居を通して子どもたちに何を伝えたいか』を頭におきながら、対象にする年齢、キャラクター、背景等を考え大まかなストーリーを決めます。次に紙芝居の枚数を決めて、絵とストーリー



文責・佐藤孝子

リーを割り振ります。後は紙芝居用紙に下絵を書き、色を塗り、ストーリーには肉付けをして完成です。その後、子どもたちに披露するのですが、一番緊張する瞬間です。

これからも、子どもたちの笑顔がたくさん見られるような活動をしていきたいと思えます。(リーダー・廣木米子)



青少年委員活動の大きな特徴に研究グループ活動があります。2年(1期)ごとに青少年委員が研究したい分野を考え、グループで活動を行っています。今期は6グループが活動しており、研究で習得した技術や能力を、地域での活動で実践しています。



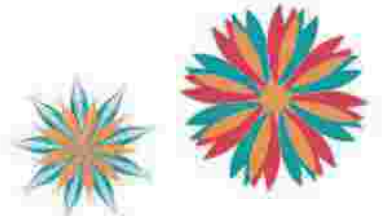
出来上がりはこのようになります。



定例会研修の様子



城東ブロック研修大会にて



葛西北地区・南地区部会合同紹介

「葛西は一つ」を合言葉にい

くつかの活動を合同で行っています。

今年で42回目を数える葛西まつりもそのひとつで、江戸川区民まつりの翌週に葛西区民館及びその周辺で行われます。葛西北・南の青少年委員は、「緑・風・水」の3つのステージの運営を地区自治連絡協議会と共に担当しており、まつりの成功の一翼を担っています。

両地区の部長が隔年でステージ部会長を務め、出演団体の選考や出演順序を、会議を重ねて決めていきます。どのステージでも出演団体の見事なパフォーマンスが来場者を喜ばせ、青少年委員はこの笑顔を楽しみに頑張っています。ステージでは、豪華な景品が当たるキーワードクイズ抽選



葛西まつり

会もあり、分かりやすいヒントづくりや景品の選定、買い出しも青少年委員の役割のひとつです。

また、毎年秋に葛西地区の青少年育成3地区委員会の役員と子ども会の役員をお招きして、情報交換と懇親を目的に「葛西のつどい」を開催しています。他の地区委員会の

活動や役員の紹介により地区委員会活動の充実と役員同士の繋がりが広がっていけばと企画しています。

学校関係では、第二葛西小学校の学区域が北・南地区部会に重なるため、両地区の委員が一緒になり、学期ごとにすすくすくスクールで工作教室や体験教室を行っています。今年度の一学期は青少年委員定例会で研修したパラリンピック公式種目の「ボッチャ」を子どもたちも体験し、障害者スポーツへの理解を深めました。

葛西北地区部会

葛西北地区部会は、葛西地区委員会から4名、葛西第一地区委員会から6名の10名の委員で活動しています。

古川親水公園周辺の10町・自治会で組織される「古川を愛する会」主催の古川まつりでは、葛西地区委員会の4名がゲーム部会を担当し、地域の方々と共に企画運営を行っています。ヨーヨー釣り、缶つりゲーム、めざせ！ダルビッシュの3種類のゲームを子どもたちに楽しんでもらい、どのゲームも大盛況で、参加賞のヨーヨーや駄菓子を買った子どもたちはみんな笑顔です。参加賞の買い出しも子どもたちの笑顔を思い浮かべながら一つひとつ選んでいます。葛西第一地区委員会の6名は、船堀地区と宇喜田・小島地区の2つの区民運動会で記録係を担当しており、白熱する競技に参加者は大興奮です





スーパードッチボール大会



古川まつりにて

が、記録係の青少年委員にミスは許されません。冷静に得点を計算しながら、一生懸命走り、スポーツに親しむ親子を応援しています。

### 葛西南地区部会

葛西南地区部会は葛西第二地区委員会からの7名の委員で活動を行っています。

第二地区委員会では、毎月最終日曜日に葛西区民館で子どもたちの自由な遊び場「おもしろぱーく」を開催したり、夏には左近川親水公園で「工作教室とつり大会」も行っています。

この大会は自分で作成した「浮き」を使って釣りをする企画で竹トンボ作りやスイカ割りもあり、参加した子どもたちに楽しんでもらっています。釣り針を使用する事や水辺である事から、参加者の行動には細心の注意を払っています。

臨海小学校と第七葛西小学校では夏休み中のすくすくスクールまつり「火おこし体験」に参加しています。これはマッチやライターを使わず「火おこし器」で火をおこすもの



火おこし、上手にできたかな？

で、コツや体力を使いますが、子どもたちの人気は高く行列ができるほどです。指導する私たちも汗せたくになりながら楽しんでいきます。

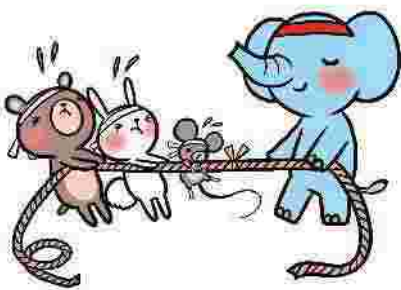
冬の「ふれあいニューイヤーマラソン大会」では、近年約2000名の参加があるため、円滑な運営ができるよう裏方として支援しています。

また毎年、地区自治連絡協議会主催の「葛西中央区民運動会」へ葛西南部区民大運動会への協力もしています。



葛西地区はこれからも北・南が一つとなり、地域のコーディネーターとして、未来を担う子どもたちが心豊かにたくましく育つように持てる力を発揮していきます。

(文責・葛西北地区 森澤 實  
葛西南地区 安次富宏行)



# 第42回江戸川区花火大会



台風5号に対する懸念を覆し予定通り8月5日(土)第42回江戸川区花火大会が開催されました。夕方4時、青少年委員のブルージャージと同色の背番号42の青いTシャツ、青い帽子、そして黄色いメガホン、赤い誘導棒を持ち、いざ出陣！河川敷の高い位置にあるサイクリングロードなどを円滑に歩行できるよう警察・区の職員方と共に誘導しました。

14000発の花火に魅了され、家路に向かう人々のために交通整理も無事終了し、お疲れ様となりました。

(文責・葛西北地区 米川和則)



## 6月定例会 薬用植物園 見学

### 薬物乱用防止のための研修会



平成29年6月17日(土)小平市にある東京都薬用植物園にて、麻薬や薬用植物の基礎知識を実際の植物を見て学び、今後の活動に生かすことを目的とした研修を行いました。この植物園では、試験研究

のため許可を得て、麻薬の原料となるケシ等を栽培しています。鉄柵で囲われた「ケシ・アサ試験区」で、ケシの花とケシ坊主を実際に見ることができました。ケシは、繁殖力が強く、空き地や街路樹などに野生化していることがあるそうです。栽培を禁止されているケシの見分け方も、教えていただきました。植物園では、見つかったケシの処分も行っています。

また、様々なハーブや漢方処方配合される生薬の原料となる植物のほか、有毒植物



も栽培されていました。私たちの身近な植物の中にも有毒、有害なものがあることを知り、驚きました。

(文責・研修部 廣木米子)

疑わしい植物を見つけたら、植物園にご相談下さい。



## 新委員紹介



わたなべ こうたろう  
渡邊 浩太郎  
鹿骨地区部会  
(鹿本)

平成29年11月1日委嘱



おおくいき けいすけ  
大貫 圭介  
鹿骨地区部会  
(京葉)

平成29年7月1日委嘱

## あとがき

今期最大のイベント、城東ブロック研修大会も無事終了し、このメンバーでの広報誌づくりも残すところあと1回となりました。ラストスパイト、全力で頑張ります。

広報部一同

## 青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会  
編集 広報部  
連絡 江戸川区文化共育部  
健全育成課青少年係

☎ (五八六二) 一六二九